光ファイバケーブルの整備（使用）計画について

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 区間 | ケーブル  種別 | 距離  (m) | 敷設芯数  (テープ数) | 交付対象  芯数 | 交付対象使用数 | | 交付  対象外  芯数 | 交付対象  未使用芯数  (テープ数) | 備考 |
| 通信芯 | 保守芯 |
| (1) | ○○町センター  ～01 | セイタン | 100 | 100芯  (25T) | 80芯 | 48芯 | 4芯 | 20芯 | 28芯  (7T) | 28芯は令和○○年度事業使用数 |
| (2) | 01～02 | 丸型 | 78 | 80芯  (20T) | 68芯 | 48芯 | 4芯 | 12芯 | 16芯  (4T) | 16芯は令和○○年度事業使用数 |
| (3) | 02～03 | SSW | 123 | 56芯  (14T) | 52芯 | 48芯 | 4芯 | 4芯 | 0芯  (0T) |  |
| (4) | 03～04 | ― | 150 | 4芯  (1T) | ― | ― | ― | ― | ― | 既設のファイバを利用 |
| (5) | 04～05 | 丸型 | 222 | 4芯  (1T) | 4芯 | 2芯 | 1芯 | 0芯 | 1芯  (0T) |  |
| ･･･ | ･･･～･･･ | ･･･ | ･･･ | ･･･ | ･･･ | ･･･ | ･･･ | ･･･ | ･･･ |  |

（＊１）「敷設芯数」、「交付対象未使用芯数」については、テープ数についても記載すること。（上記の例は４芯＝１テープ（Ｔ）の場合）

（＊２）整備した芯線を「交付対象芯数」としてカウントする場合は、全部の芯線が使用されることが原則である。但し、単独事業整備がない場合のみ、既製品を使用した結果余剰が生じる場合には「交付対象未使用芯数」へカウント可能。

(＊３) 光系統図と一致させること。

（＊４）２期目に使用する芯線については、「交付対象未使用芯数」へカウントの上、「備考」に使用芯数と事業年度を記載すること。